

新連載

教育長の視点

～その先にあるもの～

ダイジェスト

全国の教育長はどのような視点で教育施策を立案しているのか。地域に密着した活動を行うベネッセの各支社長が教育長をインタビューした記事を、教育総合情報サイトVIEWnext ONLINEで発信している。ここでは、神奈川県鎌倉市、岐阜県岐阜市、鹿児島県鹿児島市の教育長へのインタビューのダイジェストを紹介する。

Web VIEWnext ONLINE

各教育長の記事の全編は、ウェブサイトでご覧いただけます。それぞれの2次元コードからアクセスしてください。

神奈川県
鎌倉市
教育委員会

子どもたちの学びと教育者の仕事は相似形

～大人も子どもも自ら学び、動き出す文化を根づかせたい～



たかはし しょうへい
高橋洋平 教育長

「学習者中心の教育活動の推進」に重点を置く鎌倉市。「炭火」をキーワードに、子どもが自らのワクワクを燃やして、主体的に学びをつかみ取っていく教育を目指す。その実現に向けて、教員研修を、教員同士の対話を通じて各学校に散らばる実践やアイデアを共有する場とした。さらに、それぞれの学校のチャレンジを引き出す「プロデュース会議」をスタート。高橋教育長は、「教育委員会の役割は、教員の学びやチャレンジを後押しすること」と語る。

教育長のさらなる視点はウェブ記事をご覧ください→



聞き手



副社長執行役員兼
エリア事業推進本部長
兼首都圏支社長
やまがわ けんじ
山河健二

岐阜県
岐阜市
教育委員会

子どもを主語にした教育を目指す

～教室の景色そのものを変える挑戦に臨む～



みずかわ かずひこ
水川和彦 教育長

岐阜市は3年前、中部地方で初めて公立の「学びの多様化学校」を設置。学習スタイルを生徒自身が選ぶ、生徒を主語にした教育として具現化した。不登校の未然防止、早期対策にも着手し、子どもの心身の健康をサポートするアプリを全市立小・中学校に導入。子どもの悩みに対応できるようにしている。今後開校予定の小中一貫の義務教育学校では、異学年による学びの充実を図る。水川教育長は、「150年間続いてきた日本の教室の景色を変えたい」と意気込む。

教育長のさらなる視点はウェブ記事をご覧ください→



聞き手



エリア事業部
推進本部
名古屋支社長
あいむ たかし
相武貴志

鹿児島県
鹿児島市
教育委員会

学びに向かうには「考える力」がまず必要

～そのためのたくさんの機会を用意したい～



はらの そのてつや
原之園哲哉 教育長

「変化の激しい時代において、どの分野に進んでも学び続ける力が必要。その土台として、『考える力』を重視している」と語る原之園教育長。米国スタンフォード大学の講師によるオンライン授業や、沖縄科学技術大学院大学の研究者らと英語で語り合うプログラムなど、体験を伴う探究学習の充実にも力を入れている。小・中学生が端末から電子図書館にアクセスできる環境も整備し、市域が広い同市のどこに住んでいても読書に親しめるようにした。

教育長のさらなる視点はウェブ記事をご覧ください→



聞き手



エリア事業部
推進本部
九州支社長
なかがわ まさひさ
中川雅文

VIEWnext ONLINE で記事の全編をぜひご覧ください